

母子健康手帳の利活用に関する調査(2021年)結果

後藤隆之介(東京大学小児科 医師)

小松法子(創価大学看護学部基礎看護学 助教)

<基本情報>

・年齢 (Q2)

平均年齢: 34.21歳

最小値	21
中央値	34
最大値	47

20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
9	46	115	98	43	2

・性別 (Q3)

n=313

	人数	%
女性	308	98.4%
男性	5	1.6%

・居住地域 (Q4)

n=313

	人数	%
地方部自治体A	151	48.2%
地方部自治体B	5	1.6%
都市部自治体A	111	35.5%
都市部自治体B	46	14.7%

・現在妊娠の有無 (Q5)

n=313

	人数	%
いいえ	300	95.8%
はい	13	4.2%

・こどもの数 (Q7)

n=313

	人数	%
1人	130	41.5%
2人	117	37.4%
3人	53	16.9%
4人以上	13	4.2%

・最も直近のこども（末っ子）の年齢（Q8）

n=313

	人数	%
0歳	124	39.6%
1歳	80	25.6%
2歳	13	4.2%
3歳	94	30.0%
4歳	2	0.6%

・最も直近のこども（末っ子）の出生体重（Q9）

平均値	2984		人数	%
最小値	722	2500g以上	276	89.3%
中央値	3000	1500～2500g（低出生体重児）	31	10.0%
最大値	4050	1000～1500g（極低出生体重児）	0	0.0%
		1000g以下（超低出生体重児）	2	0.6%

*>=4500gの児（4960、9000、12000、31600）は除く

<母子手帳の保管・保存>

・母子健康手帳は誰のものだと思いますか？回答を一つ選んでください。（Q10）

n=313

	人数	%
こども	200	63.9%
母親	74	23.6%
家	26	8.3%
国	1	0.3%
自治体	1	0.3%
その他	11	1.8%

その他：母と子、こどもと親・保護者のもの、家族

・母子健康手帳に記載する年齢がおわったら、母子健康手帳をどうしますか？
回答を一つ選んでください。（Q11）

n=313

	人数	%
子どもが大きくなったら子どもに渡す	178	56.9%
自分で保管し続ける	108	34.5%
特に決めていない	25	8.0%
保管する予定はない	1	0.3%
結婚するときに渡す	1	0.3%

・あなた自身の母子手帳を保存・保管していますか？回答を一つ選んでください。（Q12）

n=313

	人数	%
私の親が保管している	156	49.8%
私が保管している	118	37.7%
持っていない	34	10.9%
わからない・行方不明	5	1.6%

★母子手帳の保管についての分析結果

※誰のもの？「国」「自治体」、将来母子手帳をどうするか？「保管する予定はない」「結婚するときに渡す」は各一人ずつのため除く

・「母子健康手帳は誰のものだと思いますか？（Q10）」と「母子健康手帳に記載する年齢がおわったら、母子健康手帳をどうしますか？（Q11）」の関連

		将来どうするか		
		こどもが大きくなったら 子どもに渡す	自分で保管し続ける	特に決めていない
誰 の もの	こども	130	53	15
	家	10	12	4
	母親	31	38	5
	親と子	6	4	0

Chi-sqP=0.002

・「あなた自身の母子手帳を保存・保管していますか？（Q12）」と「母子健康手帳に記載する年齢がおわったら、母子健康手帳をどうしますか？（Q11）」の関連

		将来どうするか		
		こどもが大きくなったら 子どもに渡す	自分で保管し続ける	特に決めていない
保 管 し て い る 人	私が保管	94	18	6
	私の親が保管	62	77	15
	持っていない	21	10	4
	わからない	1	3	0

Chi-sqP<0.001

・「母子健康手帳は誰のものだと思いますか？（Q10）」と「あなた自身の母子手帳を保存・保管していますか？（Q12）」の関連

		保管している人			
		私が保管	私の親が保管	持っていない	わからない
誰 の もの	こども	84	90	25	1
	家	9	13	2	2
	母親	22	44	7	1
	親と子	2	7	1	0

Chi-sqP=0.06

<母子手帳の有用性>

- ・妊娠経過の管理や子育てにおいて、母子健康手帳は役に立ちましたか？回答を一つ選んでください。（Q14）

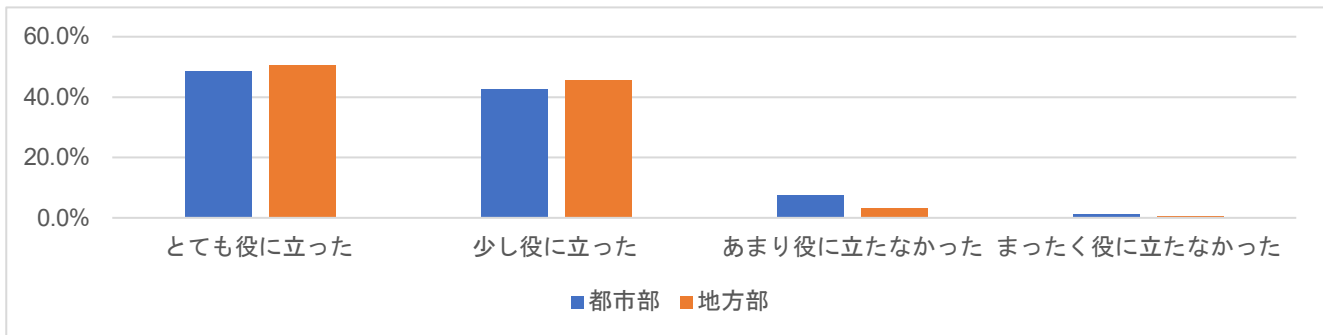
n=313

	人数	%
とても役に立った	155	49.5%
少し役に立った	138	44.1%
あまり役に立たなかった	17	5.4%
まったく役に立たなかった	3	1.0%

- ★「妊娠経過の管理や子育てにおいて、母子健康手帳は役に立ちましたか（Q14）」と「居住地域（Q4）」の比較（都市部：157、地方部：156）

	とても役に立った		少し役に立った		あまり役に立たなかった		まったく役に立たなかった	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
都市部	76	48.4%	67	42.7%	12	7.6%	2	1.3%
地方部	79	50.6%	71	45.5%	5	3.2%	1	0.6%

Chi-sqP=0.34



- ・母子健康手帳のなかで、どの内容が役に立ちましたか？優先順位が高い番号から順に5つ選んでください。（Q15）

最も役に立った 1位	2位	3位	4位	5位
予防接種の記録	出産の記録	新生児の記録	乳幼児健診の記録	身体発育の記録

1位で選んだ内容

	人数	%
予防接種の記録	110	35.1%
出産の記録	86	27.5%
妊娠の記録	48	15.3%
新生児の記録	28	8.9%
乳幼児健診の記録	21	6.7%
身体発育の記録	12	3.8%
便色カード	4	1.3%
無回答	3	1.0%
子どもの事故防止	1	0.3%

・どのような場面で母子健康手帳が役に立ちましたか？優先順位が高い番号から順に5つ選んでください。

(Q16)

最も役に立った 1位	2位	3位	4位	5位
予防接種の知識を得られた・確認できた	身長・体重などの発育状況を確認できた	笑う、歩くなどの発達段階の知識を得られた・確認できた	妊娠経過の知識を得られた・確認できた	子どもが病気で受診した時に診察に役立った

1位で選んだ内容

	人数	%
予防接種の知識を得られた・確認できた	137	43.8%
妊娠経過の知識を得られた・確認できた	84	26.8%
身長・体重などの発育状況を確認できた	64	20.4%
笑う、歩くなどの発達段階の知識を得られた・確認できた	12	3.8%
子どもの病気のメモ	6	1.9%
子どもが病気で受診した時に診察に役立った	6	1.9%
無回答	3	1.0%
子どもに応急処置ができた	1	0.3%

<母子健康手帳の使いやすさ>

・母子健康手帳の様式や形体は使いやすいですか？回答を一つ選んでください。(Q17)

n=313

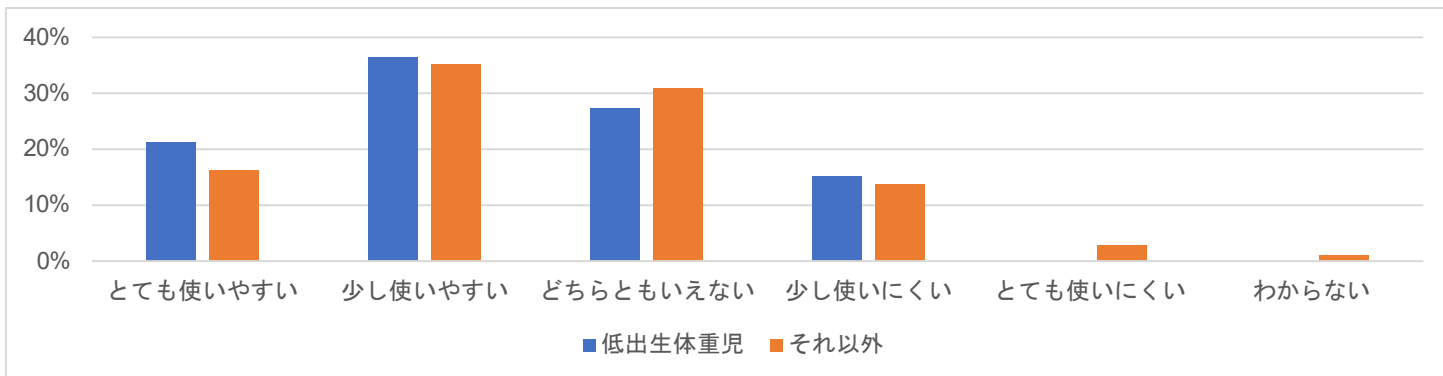
	人数	%
とても使いやすい	54	17.3%
少し使いやすい	109	34.8%
どちらともいえない	95	30.4%
少し使いにくい	44	14.1%
とても使いにくい	8	2.6%
わからない	3	1.0%

★母子健康手帳の使用状況「母子手帳の使いやすさ (Q17)」と出生時体重 (Q9) による比較

(低出生体重児：33名、それ以外：278名)

	とても 使いやすい		少し 使いやすい		どちらともい えない		少し 使いにくい		とても 使いにくい		わからない	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
低出生体重児	7	21.2%	12	36.4%	9	27.3%	5	15.2%	0	0.0%	0	0.0%
それ以外	45	16.3%	97	35.1%	85	30.8%	38	13.8%	8	2.9%	3	1.1%

Chi-sqP=0.86



・使いにくい場合、どのようなところが使いにくいですか？（自由記載）（Q18）

<母子健康手帳の利活用の状況>

・母子健康手帳の前半のページ（主に妊娠中や出産後の児の記録）は主に誰が活用していますか？目的別（「読む」「記入」「母の健康管理」「子の健康管理」）に当てはまる者をそれぞれ一つお答えください。（Q13）

n=313

	父	母	祖父	祖母	保健医療者	その他
読む	29	274	0	0	10	0
記入	3	281	0	0	29	0
母の健康管理	1	270	0	1	37	4
子の健康管理	2	269	1	0	39	2

その他：見ない、活用していない、誰もない

[読む]

・母子健康手帳の後半のページ（主に妊娠・出産・子育てに関する情報提供）を読んだことがありますか？回答を一つ選んでください。（Q27）

n=313

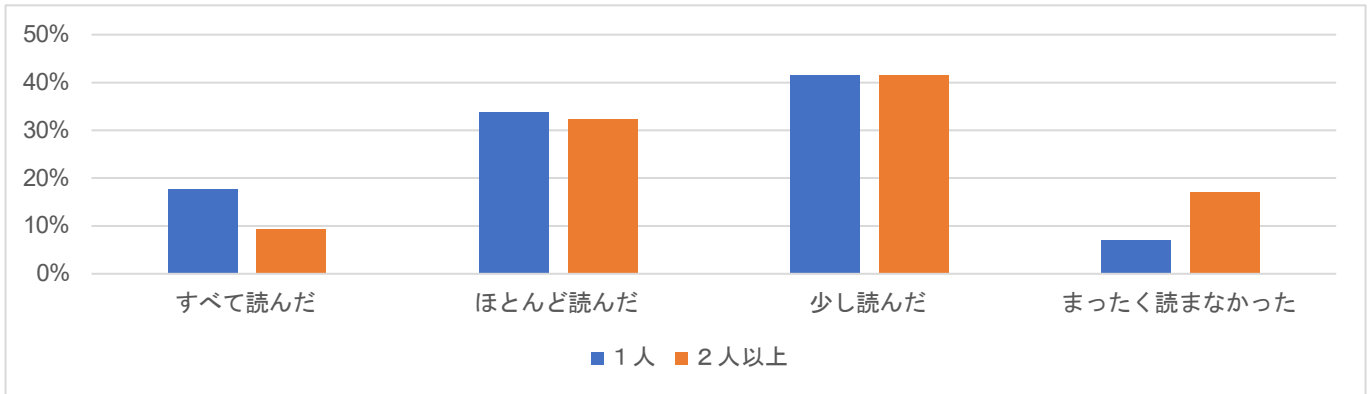
	人数	%
すべて読んだ	40	12.8%
ほとんど読んだ	103	32.9%
少し読んだ	130	41.5%
まったく読まなかった	40	12.8%

★「母子健康手帳の後半のページ（主に妊娠・出産・子育てに関する情報提供）を読んだことがありますか？（Q27）」と子どもの人数（Q7）による比較

（1人：130、2人以上：183）

	すべて読んだ		ほとんど読んだ		少し読んだ		まったく読まなかった	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1人	23	17.7%	44	33.8%	54	41.5%	9	6.9%
2人以上	17	9.3%	59	32.2%	76	41.5%	31	16.9%

Chi-sqP=0.02



・読んだことがある場合、役に立ったのはどの内容ですか？当てはまるものをすべて選んでください。（Q28）

n=313

	人数	%
妊娠中の情報	172	55.0%
新生児の情報	179	57.2%
育児に関する情報	136	43.5%
子どもの病気やけがについて	146	46.6%
悩みの相談先	34	10.9%
利用できる制度について	53	16.9%
特になし	1	0.3%

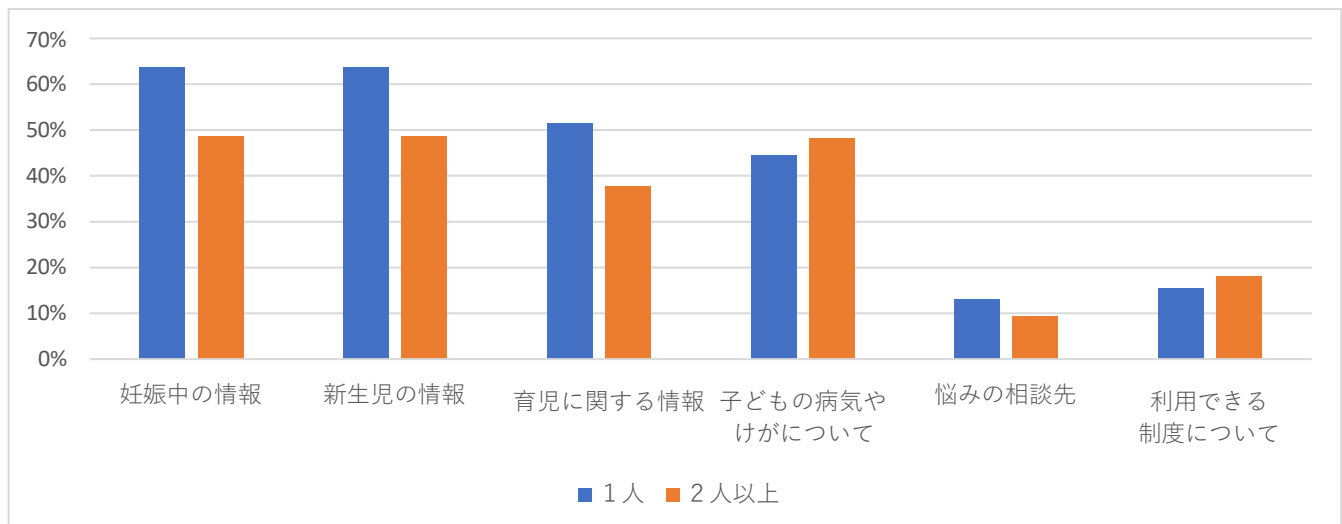
★役に立った情報（Q28）と子どもの人数（Q7）による比較

（1人：130、2人以上：183）

	妊娠中の情報		新生児の情報		育児に関する情報		子どもの病気やけがについて		悩みの相談先		利用できる制度について	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1人	83	63.8%	84	63.8%	67	51.5%	58	44.6%	17	13.1%	20	15.4%
2人以上	89	48.6%	89	48.6%	69	37.7%	88	48.1%	17	9.3%	33	18.0%

妊娠中の情報：z-test P=0.01、新生児の情報：z-test P=0.03、育児に関する情報：z-test P=0.02

子どもの病気やけがについて：z-test P=0.62、悩みの相談先：z-test P=0.38、利用できる制度について：z-test P=0.64



[記入]

・あなた自身で母子健康手帳の記録を書き込んだことがありますか？回答を一つ選んでください。（Q29）

	人数	%
はい	304	97.1%
いいえ	9	2.9%

・最も直近のお子さん（末っ子）について、母子健康手帳の以下の項目がご自身か医療従事者のいずれかによって記入されているかどうかお答えください（Q30）

* 設問No.8以降は対象者を年齢で区切り、該当年齢になっていない場合は対象人数から除外した。

	対象人数	記入あり		記入なし	
		人数	%	人数	%
1. 妊婦の健康状態等	313	301	96.2%	12	3.8%
2. 妊婦の職業と環境	313	254	81.2%	59	18.8%
3. 妊婦自身の記録	313	268	85.6%	45	14.4%
4. 妊娠中の経過	313	298	95.2%	15	4.8%
5. 検査の記録	313	289	92.3%	24	7.7%
6. 出産の状態	313	311	99.4%	2	0.6%
7. 出産後の母体の経過	313	287	91.7%	26	8.3%
8. 早期・後期新生児期の経過	313	266	85.0%	47	15.0%
9. 検査の記録（先天性代謝異常検査・ABR等）	313	300	95.8%	13	4.2%
10. 便色の確認の記録	313	139	44.4%	174	55.6%
11. 保護者の記録（3～4か月の頃）	221	199	90.0%	22	10.0%
12. 保護者の記録（3～4か月の頃）の自由記載欄	221	171	77.4%	50	22.6%
13. 3～4か月児健康診査	212	200	94.3%	12	5.7%
14. 保護者の記録（1歳6か月の頃）	118	95	80.5%	23	19.5%
15. 保護者の記録（1歳6か月の頃）の自由記載欄	118	76	64.4%	42	35.6%
16. 1歳6か月児健康診査	109	101	92.7%	8	7.3%
17. 保護者の記録（3歳の頃）	96	62	64.6%	34	35.4%
18. 保護者の記録（3歳の頃）の自由記載欄	96	52	54.2%	44	45.8%
19. 3歳児健康診査	96	67	69.8%	29	30.2%
20. 乳児身体発育曲線	313	265	84.7%	48	15.3%
21. 幼児身体発育曲線	189	165	87.3%	24	12.7%
22. 予防接種の記録	313	310	99.0%	3	1.0%

★便色確認の記録の有無（Q30.10）と子どもの数（Q7）による比較

便色確認の記録	子どもの数				総計
	1人	2人	3人	4人以上	
記入あり	59	50	24	6	139
記入なし	71	67	29	7	174
総計	130	117	53	13	313

Chi-sqP=0.97

★便色確認の記録の有無（Q30.10）と居住地域（Q4）による比較

便色確認の記録	地方部自治体	都市部自治体	総計
記入あり	60	79	139
記入なし	96	78	174
総計	156	157	313

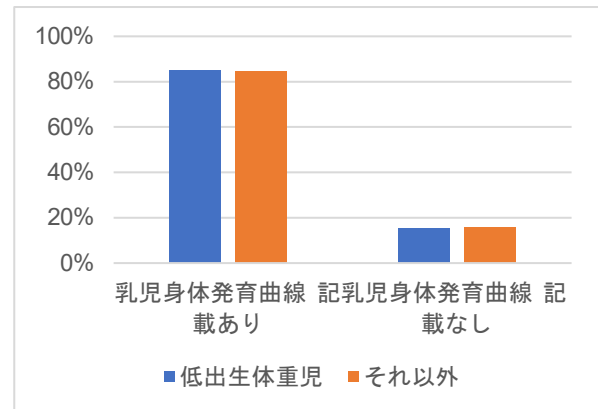
Chi-sqP=0.035

★乳児身体発育曲線記載の有無（Q30.20）と出生時体重（Q9）による比較

（低出生体重児：33名、それ以外：276名）

	乳児身体発育曲線 記載あり		乳児身体発育曲線 記載なし	
	人数	%	人数	%
低出生体重児	28	84.8%	5	15.2%
それ以外	233	84.4%	43	15.6%

z-testP=1.00



・あなたの一番末のお子さまについて、母子健康手帳の以下の項目にどの程度記入されているかお答えください（Q31）

* 設問No.3 以外は対象者を年齢で区切り、該当年齢になっていない場合は対象人数から除外した。

	対象 人数	多く書かれている (スペースの半分 以上)		少し書かれている (スペースの半分 以下)		全く書かれてい ない		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
3.妊婦自身の記録	313	110	35.1%	130	41.5%	28	8.9%	45	14.4%
11.保護者の記録 3.4か月の頃.	236	98	41.5%	96	40.7%	19	8.1%	23	9.7%
12.保護者の記録 3.4か月の頃の自由 記載欄	236	84	35.6%	87	36.9%	13	5.5%	52	22.0%
14.保護者の記録 1歳6か月の頃.	182	63	34.6%	66	36.3%	17	9.3%	36	19.8%
15.保護者の記録 1歳6か月の頃の自 由記載欄.	182	43	23.6%	65	35.7%	5	2.7%	69	37.9%
17.保護者の記録 3歳の頃.	96	35	36.5%	20	20.8%	7	7.3%	34	35.4%
18.保護者の記録 3歳の頃の自由記載 欄.	96	24	25.0%	25	26.0%	3	3.1%	44	45.8%

<改訂版への要望>

- ・今後、母子健康手帳の内容が見直されるとしたら、どのようなことを期待しますか？当てはまるものをすべて選んでください。

[ページ数] (Q19)

	人数	%
ページ数を全体的に増やして欲しい	13	4.2%
ページ数を全体的に減らして欲しい	104	33.2%
カラーページを増やしてほしい	48	15.3%
カラーページを減らしてほしい	1	0.3%
出産や育児のしおりのページ数を増やしてほしい	67	21.4%
出産や育児のしおりのページ数を減らしてほしい	19	6.1%
自由記載できるページ数を増やしてほしい	71	22.7%
予防接種の記録のページ数を減らしてほしい	5	1.6%
ページ数については、今のままでいい	89	28.4%

その他：予防接種が強制であるような記載は控えてほしい。内容はそのまま、もう少しコンパクトにしてほしい。子どもが3人いると重くて持ち運びしにくい。少し大きめにしてほしい。

成長・体重・身長の平均値グラフのところたくさん記入するのでとても役に立っている。グラフは少し小さいので書きづらいです。成長の記録のページを増やしてほしい。文字が多いので図やイラストでわかりやすくしてほしい。文字を大きくしてほしい。発育曲線の近くに、身長、体重などを月齢ごとに記録できるページが欲しい。管理されているようで嫌だと感じる。紙を丈夫にしてほしい。身長体重等を男の子と女の子でまとめてほしい。離乳食のページを増やしてほしい。電子化、記録をQRコードで携帯に入力できるなど。

[内容] (Q21)

	人数	%
利用できる制度やサービスの情報を追加してほしい	102	32.6%
内容をもっと簡単にしてほしい	93	29.7%
父親について記載する欄がほしい	93	29.7%
就学以降の記録（成長曲線や予防接種等）もできるようにしてほしい	87	27.8%
子育てに関する情報をもっと盛りこんでほしい	70	22.4%
居住地の情報を追加してほしい	41	13.1%
多胎児や小さく生まれた子どもの情報を追加してほしい	41	13.1%
イラストを入れてほしい	34	10.9%
記載内容について、今のままでいい	54	17.3%

その他：ワクチンは義務ではなく任意な事、メリットと併せてデメリットもある事、副作用の事例等もしっかりと記載するべきだと思います。離乳食や卒乳についてもあたかもこの時期にはこうであるべきだと受け取れる様な記載になっておりますが個人差があります。月齢別では、いいえで出来る事、出来ない事を記載する欄が大きくありますがこちらもあくまで目安であって、回答から外れると問題があるかの記載方法に疑問を感じます。先天性の病気に関する事を詳しく記載してほしい。内容を簡潔に、リンクを貼りつけて、気になることはホームページ等で更に詳しく見れると良い。

妊娠後、引っ越したので住居地の情報やサービスは別紙にして欲しい。引っ越し後は、前の母子手帳があると貰えずに、引っ越し後のサービスなどの情報をとるのがたいへん。母親のメンタルヘルスについて。父親が記入するページが欲しい。父親の父親自覚不足が深刻！！！！

父親にも活用して貰うために、父親が記載しなければならない欄等を設けて欲しい

身長体重記録しやすいようにしてほしい。開きやすいように、インデックスがあると便利

[様式] (Q23)

	人数	%
手帳のサイズを大きくしてほしい	25	8.0%
手帳のサイズを小さくしてほしい	66	21.1%
全体的に文字を大きくしてほしい	25	8.0%
難しい漢字にルビを振ってほしい	13	4.2%
サイズは全国统一してほしい	2	0.6%
薄くしてほしい	2	0.6%
様式について、今のままでいい	189	60.4%

その他：アプリが良い。

もっと可愛らしいの。よく見るページがあるのでしおり（紐）をつけてほしい

厚みを小さくして欲しい。大きさは今のこのサイズがいいです。

手帳サイズを全体で統一してほしい。上の子と下の子で住んでいた所が違い大きさも違う為持ち運びに困る。

手帳じゃなくWebなど手軽なサイトにしてほしい。手帳のカバーを頑丈にしてほしい。

★居住地 (Q4) と手帳のサイズ (Q23) の比較

		大きくしてほしい		小さくしてほしい		今のままでいい	
		人数	%	人数	%	人数	%
地方部自治体A	151	9	6.0%	49	32.5%	79	52.3%
地方部自治体B	5	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%
都市部自治体A	111	9	8.1%	7	6.3%	78	70.3%
都市部自治体B	46	7	15.2%	10	21.7%	28	60.9%

[電子化] (Q25)

	人数	%
スマートフォンで見られるようにしてほしい	161	51.4%
スマートフォンで記録できるようにしてほしい	181	57.8%
母子手帳は、紙と電子、両方で管理できるようにしてほしい	3	1.0%
電子化について期待することはない	103	32.9%

その他：アプリとかどうでしょうか？ピヨログと提携すればとても良いコンテンツが配信できると思う。そのままが良いと思う。

予防接種の記録はマイナンバーカード等と紐づけしてほしい。

医療関係者も記録出来るのであればデジタル化しても良いと思う。

各施設で情報を共有できるようにして欲しい。子供のための記録なので紙媒体が良い。寧ろ紙だからこそよいと思う手書きのままでいい。持ち物としてはかさばるが、親の字で記録を残せるモノは残して欲しい。検診の受診票。現状のままでいい。

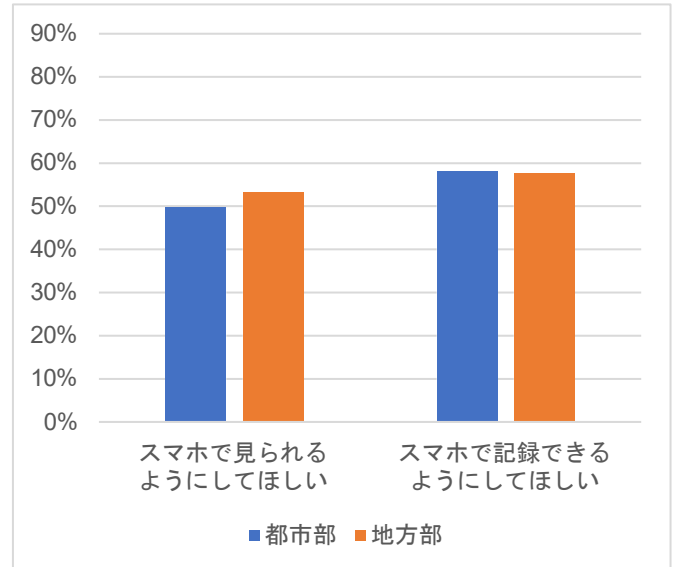
連携できるようにできたら嬉しい。

★電子化について (Q25) 居住地 (Q4) による比較
(都市部 : 157、地方部 : 156)

	スマホで記録できるようにしてほしい		スマホで見られるようにしてほしい	
	人数	%	人数	%
都市部	78	49.7%	91	58.0%
地方部	83	53.2%	80	57.7%

スマホで見られるようにしてほしい (z-testP=0.61)

スマホで記録できるようにしてほしい (z-testP=1.00)

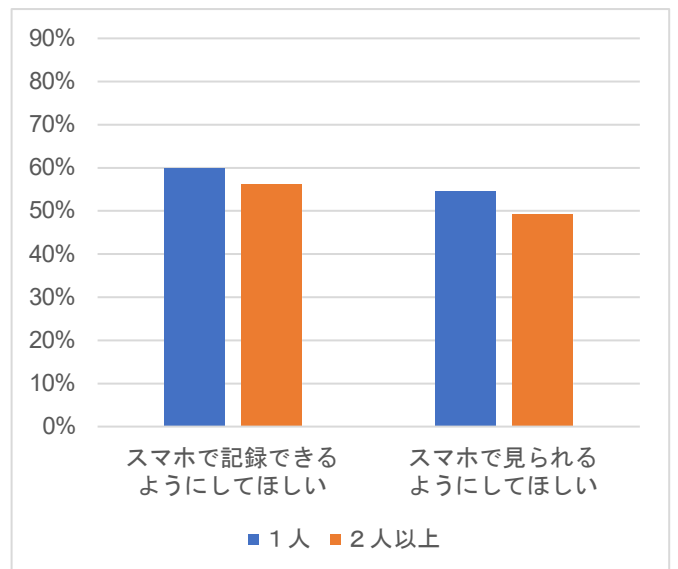


★電子化について (Q25) 子どもの人数 (Q7) による比較
(1人 : 130、2人以上 : 183)

	スマホで記録できるようにしてほしい		スマホで見られるようにしてほしい	
	人数	%	人数	%
1人	78	60.0%	71	54.6%
2人以上	103	56.3%	90	49.2%

スマホで見られるようにしてほしい (z-testP=0.40)

スマホで記録できるようにしてほしい (z-testP=0.59)

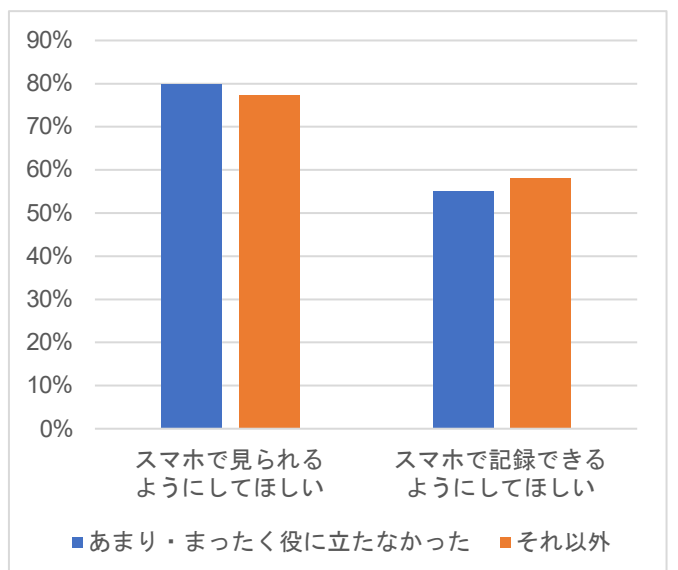


★電子化について (Q25) 母子健康手帳の役立ち感 (Q14) との比較
(あまり・まったく役に立たなかった : 20、それ以外 : 293)

	スマホで記録できるようにしてほしい		スマホで見られるようにしてほしい	
	人数	%	人数	%
あまり・まったく役に立たなかった	12	80.0%	11	55.0%
それ以外	149	77.2%	170	58.0%

スマホで見られるようにしてほしい (z-testP=0.58)

スマホで記録できるようにしてほしい (z-testP=0.98)

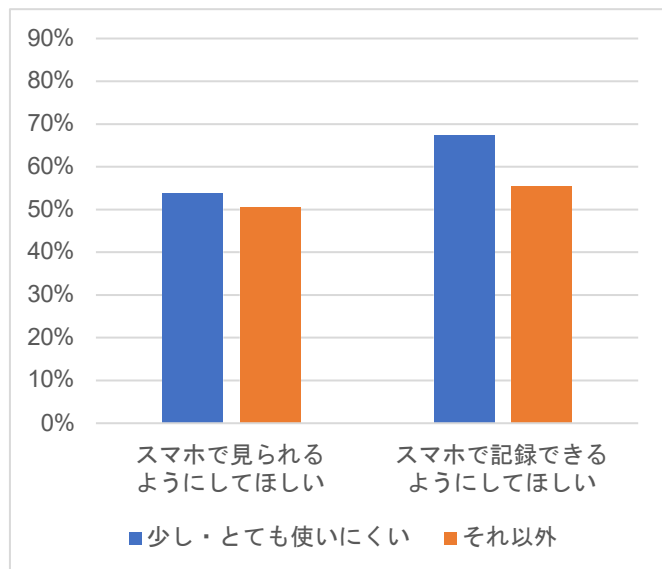


★電子化について（Q25）使いやすさ（Q17）による比較
 （少し使いにくい・とても使いにくい：52、それ以外：130）

	スマホで記録できるようにしてほしい		スマホで見られるようにしてほしい	
	人数	%	人数	%
少し・とても使いにくい	28	53.8%	35	67.3%
それ以外	130	50.4%	143	55.4%

スマホで見られるようにしてほしい（z-testP=0.76）

スマホで記録できるようにしてほしい（z-testP=0.15）



★1999年調査*との比較

*藤本、中村ら：母子健康手帳の利用状況調査，日本公衆衛生雑誌，48(6)486-94，2001

・母子健康手帳は役に立ちましたか？

	1999 n= 10900	2021 n= 313
とても役に立った	41.5%	49.5%
少し役に立った	45.5%	44.1%
どちらともいえない	11.3%	
あまり役に立たなかった	1.7%	5.4%
まったく役に立たなかった	0.1%	1.0%

・母子健康手帳の様式や形体は使いやすいですか？

	1999 n= 10900	2021 n= 313
とても使いやすい	30.2%	34.8%
少し使いやすい	25.8%	30.4%
どちらともいえない	34.1%	17.3%
少し使いにくい	6.4%	14.1%
とても使いにくい	0.2%	2.6%
わからない		1.0%

・母子健康手帳の後半のページ（主に妊娠・出産・子育てに関する情報提供）を読んだことがありますか？

	1999 n= 10900	2021 n= 313
全部読んだ	47.1%	12.8%
ほとんど読んだ	51.5%*	32.9%
少し読んだ		41.5%
まったく読んだことがない	1.4%	12.8%

*1999年の調査では、「一部読んだ」

・記入状況

あなた自身で母子健康手帳の記録を書き込んだことがありますか？

	1999	2021
はい	97.8%	97.1%
いいえ	2.2%	2.9%

・記入されている割合

	1999 n= 10900	2021 n= 313
妊婦の健康状態等	95.9%	96.2%
妊婦の職業と環境	90.7%	81.2%
妊娠中の経過	98.6%	95.2%
出産の状態	98.5%	99.4%

妊娠中と産後の体重変化の記録	78.8%	
妊娠中と産後の歯の状態	24.9%	
保護者の記録	89.9%	
1か月児健康診断	98.6%	
保護者の記録	88.7%	
3～4か月児健康診査	96.4%	94.3%
保護者の記録	83.3%	77.4%
1歳児健康診査*	68.0%	92.7%
乳児身体発育曲線	78.4%	84.7%
予防接種の記録	98.4%	99.0%
今までにかかった主な病気	44.3%	

*2021年度調査は、1歳6ヵ月健診

・今後、母子健康手帳の内容が見直されるとしたら、どのようなことを期待しますか？

	1999 n= 10900	2021 n= 313
ページ数を増やして欲しい(%)	7.0%	4.2%
ページ数を減らして欲しい(%)		33.2%
スマホで見られるようにしてほしい(%)		51.4%
スマホで記録できるようにしてほしい(%)		57.8%
電子化について期待することはない(%)		32.9%

赤ちゃんのうんちの色に 注意しましょう

便色カードで胆道閉鎖症をチェック!

胆道閉鎖症ってどんな病気?



① 胆道閉鎖症の特徴と症状

- ① 1万人に1人の赤ちゃんがかかる病気です。
- ② うんちの色がうすい黄色、うすいつグイス色、白っぽい色など、便色カードの1〜3番に近い色になるのが大きな特徴です。
- ③ おっぱい、皮膚やしらめの黄変があり、濃い黄色のおしっこが出ていたら、1日も早く、医師にそのことを伝えて、小児外科または小児科を紹介してもらいましょう。
- ④ 早期発見と早期手術で、より良い結果が期待されています。

② 発見と手術が遅れると…?

肝硬変が進行して肝不全になったり、手術をしても十分な効果が得られなかったりします。時には胆管内出血を生じることもあります。

便色カードの使い方



便色がつずく、黄変があり、濃い黄色のおしっこなら1日も早く医師に見てもらいましょう。その時、なるべく新しい便を持って行ってください。

便色カードについて

母子健康手帳に貼ってあります。便と便色カードを見比べましょう。便色カードのみでは、正常・異常の判定はできません。



資料3 うんち検診便色チェックカード（松井式便色カード）
NPO 法人ひまわりの会

うんち検診 便色チェックカード (松井式便色カード)

紙オムツの上のうんちと便色
チェックカードを並べて、スマート
フォンを使って撮影して下さい。

生後2週、4週、6週のタイミングで
計3回撮影し、母子手帳(電子版)に
記録します。下記二次元コードを参照。

- ・ 便が4番より薄い色
- ・ 黄疸(白目が黄色い)
- ・ 濃い色の尿

これらが3日以上続いたら
お医者さんに相談しましょう。

妊娠・出産・育児を記録と情報でサポートするアプリ

母子健康手帳デジタル版

詳しくは [母子健康手帳デジタル版](#) 検索

App Store/Google Playストアで
今すぐダウンロード!!



[CO・OP共済ニュース]

子どもの保障はCO・OP共済

月掛金1,000円〜で充実の保障!

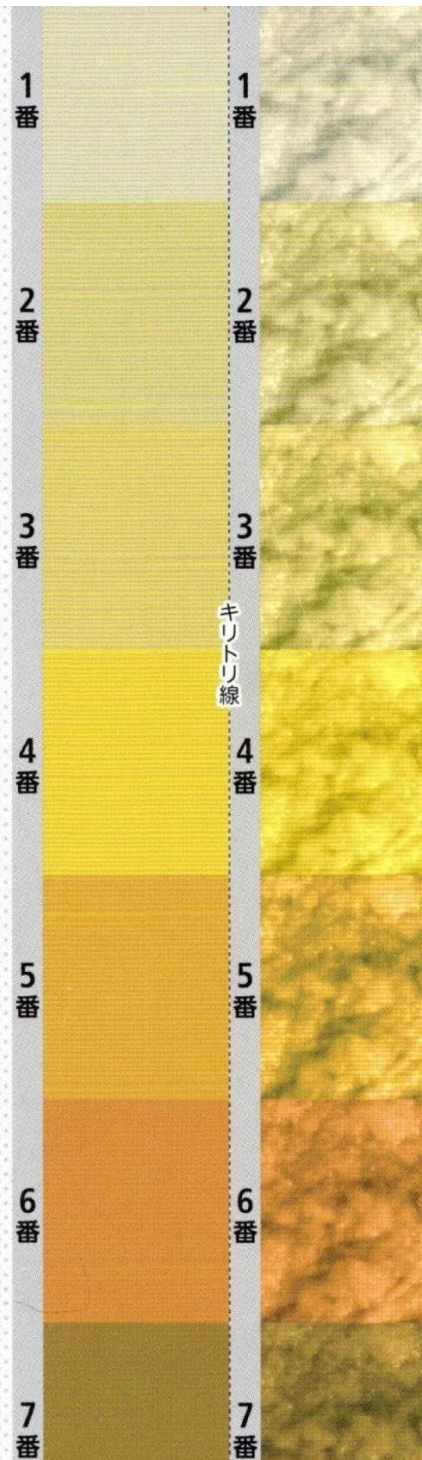
スマホでカンタン資料請求




まずは資料請求を!

コープ共済 子ども

※保障内容・掛金はご加入の商品・
コースにより異なります。
契約引受団体:日本コープ共済生活協同組合連合会




1番
2番
3番
4番
5番
6番
7番

キリトリ線


助産師の皆様へ

便色カードの 使い方を 説明していますか？



母子健康手帳の保護者による記入状況

妊婦の健康状態等	96.2%
妊娠中の経過	95.2%
出産後の母体の経過	91.7%
早期・後期の新生児期の経過	85.0%
便色の確認の記録	44.4%
保護者の記録（3～4か月頃）	90.0%
保護者の記録（1歳6か月頃）	80.5%



記入の
状況が
最も低い

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成基盤研究事業）
母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と切れ目のない母子健康保険サービスに係る研究
研究代表者 中村安秀 研究分担者 渡邊洋子 より掲載

出産後の保護者に接する機会（産科医療機関・助産所退院時指導、産後健診、新生児訪問、1か月児健診、乳児健診時など）において、母子健康手帳19ページの便色カードの使用方法的説明、3回の記録の促しと、便色の確認を行ってください。

公益社団法人日本助産師会

【提言】 便色確認の記録ページの活用促進に向けて

先天性胆道閉鎖症の早期発見と早期治療につなげるために、平成24年度より母子健康手帳に挿入されている便色カードとその記録ページである。厚生労働省健やか次世代育成基盤研究事業「母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と切れ目のない母子保健サービスに係る研究」班で、令和3年度実施の母子健康手帳の保護者の利活用調査では、便色の記録欄の記入率が44.4%と低いこと、さらに令和4年度に実施した8自治体における母子健康手帳利活用の取り組み状況調査においても、自治体のみで便色カード利活用を促進するには限界があることがわかった（別紙資料参照）。

胆道閉鎖症全国登録制度によると、平均手術日齢は早期化してきている傾向にあるものの、便色カードの記入率は5割に満たない状況であり、主に小児外科医から構成される日本胆道閉鎖症研究会からも便色カードの利活用をさらに促進することが望まれている。このことから、周産期の領域において、すべてのステークホルダーの連携のもと、便色カードの効果的な活用促進を図ることが重要である。

I. 第一段階として行うべき取り組み

便色カードは、保護者に対してその意味と使い方の説明、その結果の記入の促しが、最初に必要である。保護者が児の便色の確認を行い、記録をすることに確実につなげることにに対して、具体的には以下のような取組みを提案するが、いずれにしても国の母子保健担当部署の強い介入が望まれる。

自治体の取組み

各自治体は、新生児訪問時の記録票への便色記入欄を新設する。
そこを記入することで、保護者に対しての説明と記入の促しにつながる。
⇒各自治体母子保健担当部署に対して、周知の必要性がある。


医療機関の取組み

出産後の保護者への指導・助言等のあらゆる機会（特に産科施設退院時指導、1か月児健診指導）において、便色カードの使い方の説明と、記入の促しを行なうよう、関連団体への周知をはかる。

- ⇒・日本助産師会から会員への促し（2023年3月、47都道府県会長に周知がなされ、同月よりウェブサイトにも掲載されている）（図1）
- ・日本小児科医会等から会員への促し
- ⇒これら関連団体に対しても、再周知が望まれる。

助産師の皆様へ

便色カードの
使い方を
説明していますか？



母子健康手帳の保護者による記入状況

妊婦の健康状態等	96.2%
妊娠中の経過	95.2%
出産後の母体の経過	91.7%
早期・後期の新生児期の経過	85.0%
便色の確認の記録	44.4%
保護者の記録（3～4か月頃）	90.0%
保護者の記録（1歳6か月頃）	80.5%

記入の
状況が
最も低い

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成基盤研究事業）
母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と切れ目のない母子健康保険カードに係る研究
研究代表者 中村安秀 研究分担者 渡邊洋子 より掲載

出産後の保護者に接する機会（産科医療機関・助産所退院時指導、産後健診、新生児訪問、1か月児健診、乳児健診時など）において、母子健康手帳19ページの便色カードの使用方法の説明、3回の記録の促しと、便色の確認を行ってください。

公益社団法人日本助産師会

図1 日本助産師会員向け便色カード活用促進チラシ（日本助産師会作成 2023年3月）

II. 第二段階として行うべき取組み

表に示した通り、便色カードの印刷の質の担保も推進すべき事項である。自治体により母子健康手帳の印刷事業者を選択できるのが現状であるが、各印刷事業者の便色カードの質の評価・標準化が望まれる。

またIT技術を利用し、アプリと連動した便色番号の確認の導入など、記入後のフォローアップを容易にすることも必要である。

表 各ステークホルダーの関与

	民間	行政	臨床			
	印刷会社／ ひまわりの会	保健師	助産師／ 看護師	産科医	小児科医	小児外科医
カラー品質管理／印刷	◎					
便色カードの配布	◎	○				
説明と記入促し（母子手帳）		◎	◎	○	◎	
便色番号確認／指導	△	◎	◎		◎	
診察／検査／紹介					◎	
治療／フォローアップ					○	◎

※△；民間アプリケーションソフトによる便色番号の確認

また、保護者に記入の促しを徹底するとともに、母子手帳へのその記入の有無の確認を、保健医療従事者が確実に行うことも必要である。1か月児ならびに、3～4か月児健康診査の記録欄に、便色番号欄を設けることも、次回の母子手帳改定時に検討していただきたい。

これは、先天性代謝異常症検査ならびに新生児聴覚検査の実施年月日を記入する欄が設けられていることと同等の扱いであるといえよう。すなわち生後早い時期にスクリーニングできる方法があり、それにより早期発見につなげることに資する疾患として、先天性胆道閉鎖症も含まれている。

以上の提言が具体化され、先天性胆道閉鎖症の早期発見・早期治療に向けた、切れ目のない体制の充実により、児のQOLの向上につながることが望まれる。

<参考>

便色カードと先天性胆道閉鎖症の早期発見・治療の状況
文献より

- 胆道閉鎖症全国登録症例では、便色カードの記載率は、44.0%(2020年登録100例)。平均手術日齢は早期化してきている傾向あり（日本胆道閉鎖症研究会・胆道閉鎖症全国登録事務局. 日小外会誌 58:201-07,2022)
- 便色カードの導入は、早期発見・病的出血例の減少には寄与していない（横井ら. 日小外会誌 55:945-50,2019)

第49回日本胆道閉鎖症研究会（2022年12月）より

- 親の気づきで受診につながった割合が増加している
- 便色カードで保護者が気になり近医受診したが「経過観察」となり、発見が遅れた事例あり。小児外科医以外が胆道閉鎖症の臨床像を知らない
- 尿中胆汁酸の測定など、便色のみには頼らないスクリーニング方法の導入が必要

日本胆道閉鎖症研究会事務局 小児外科医へのヒアリング

- 胆道閉鎖症登録症例では、便色カードは手術日齢の早期化に一定の役割を果たしていると考えられる。便色カードの利用促進が重要であり、配布だけでなくいかに効果的に使うかが問われている。
- 小児外科医に紹介されるまでの、新生児期以降の繰り返しの保護者へのリマインドが重要である。

<別紙>

自治体における母子健康手帳利活用の取り組み状況調査

背景

母子健康手帳（以下、母子手帳）は、概ね10年に1回内容の改定を行っている。前回の改定（平成23年）時には、妊婦や保護者自身の記録がしやすい配慮と、先天性胆道閉鎖症早期発見を目的とした便色確認の記録欄の追加がなされ、平成24年度から妊婦への配布となった。

令和3年度実施の母子健康手帳の保護者の利活用調査で、平成23年度改定により新しく追加された以下の3項目の利用状況評価を行ったところ、C.の記入率が44.4%と低かった（表）。

- A. 妊婦自身の記録
- B. 児の該当年齢時の保護者の記録
- C. 便色確認の記録

政省令に定められた改定内容は、各自治体に周知がなされるが、新様式の母子手帳を妊婦に交付する現場では、改定内容も理解の上で対象者に利活用方法の説明が行われなければならない。そこで、自治体における一般的な利活用の質の確保状況を把握するとともに、特に記入率の低かった便色確認カードのページに対して、保護者への説明や、記入の促し等、自治体での取り組み状況を把握するために、調査を行った。

なお、本研究は国立国際医療研究センター倫理審査委員会の承認（NCGM-S-004265-01）を得て実施している。

目的

- ① 改定後の母子手帳の利活用の質の確保方法を把握する。
- ② 便色確認のページ（19 ページ）に対して、保護者への説明や、記入の促し等の取り組み状況を把握する。
- ③ ②の結果より、便色確認ページの更なる活用促進に向け、自治体として実施可能な提案をまとめる。

対象と方法

令和3年度利用者調査の対象となった8自治体（岩手県3、埼玉県1、東京都1、沖縄県3）の母子保健担当部署に対し、質問票のメール回答（2022年11月前半）ならびに電話ヒアリング（同月後半）を行った。

結果（✓ は、ヒアリング時の回答）

① 母子手帳の利活用の質確保の方法

母子手帳の交付や活用に関する手引き*などの使用 0 / 8

*厚労科研「母子健康手帳の交付・活用の手引き」平成24年3月版

✓ ○新人や転入職員が利活用方法を取得する方法として、母子手帳交付時や妊婦面接時に、経験のある職員による実際の対応に複数回同席して、説明内容（改定項目を含む）を習得する、いわゆる OJT の方法が、8自治体で使われていた。

② 便色カードの利活用の実際

a. 便色カードの掲示用パネルの使用 0 / 8

b. 先天性胆道閉鎖症に関するリーフレットの配布 1 / 8

⇒厚労科研「胆道閉鎖症早期発見のための便色カード活用マニュアル」（平成24年3月版）に挿入されているリーフレット

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-hoken/dl/kenkou-04-06.pdf

c. 便色確認の記入欄の使い方の説明をする方針

方針あり	機会	説明職種
1 / 8	母子手帳の交付時	保健師、 看護師
0 / 8	妊婦面接・訪問時	
1 / 8	両親（母親）学級	保健師、 助産師
0 / 8	産婦健診時	
5 / 8	新生児訪問時 （こんにちは赤ちゃん訪問を含む）	保健師、 助産師
0 / 8	3-4 か月健診前の事業* *子ども家庭支援センター等、児童福祉 法関係所管の事業など	

- ✓ 3-4 か月までの、乳児の保護者からの便に関する相談事項は、回数（多い、少ない）と性状（血が混じる、緑色）が大部分で、色が白っぽいという相談はまれである。
- ✓ 新生児訪問時が保護者に説明をする機会であるが、確認事項は年々増えてきており、便色確認の優先順位はあまり上位ではない。
- ✓ 便色確認の記録ページ（母子手帳 P19）が、保護者が記録すべきページであることがわかりにくい。
- ✓ 医療機関との連携事例として、
 - 該当児の保護者に事前送付する 1か月健診問診票に便色カードの番号を記入する欄を設けている。その問診票を記入して、健診医療機関（診察は小児科医）を受診するシステムになっている。
 - 該当児の保護者に事前送付する 3-4か月健診問診票に、便回数と便色番号記載欄を新設し、令和5年度から使用する。個別健診医療機関を受診後、問診票が保健センターに集まることで、データ集計をする予定。
- ✓ 便色カードの利活用促進への意見として、
 - 新生児訪問記録票にある記入欄に「便の色」を追加することは可能性がある。
 - 行政からのアプローチは限られているので、医療機関からの説明の方が有効ではないか。

考察

- 前回の母子手帳改定時に併せて、国は「母子手帳の交付・活用の手引き」を作成しているが、自治体においては、OJT 中心に質が保たれていると思われる。
- 便色カードや先天性胆道閉鎖症の普及啓発の取組みは、都市部と地方部における自治体で明らかな違いは認められなかった。
- 便色確認の記録ページの活用を促進するには、行政からの取組みとしては、新生児訪問記録票に、「便の色」の記入欄を追加し、新生児訪問（こんにちは赤ちゃん訪問も含む）に確認と、保護者に対して母子手帳への記録を促すことが望まれる。
- また、医療機関からの機会を活用して、保護者への説明と記入促しを行うことが効果的と思われ、自治体と地域の医療機関との連携の好事例が参考となる。

表

	A.妊婦自身の記録	B.保護者の記録			C.便色確認の記録
		3-4か月の頃	1歳6か月の頃	3歳の頃	
対象者数	313	221	118	96	313
記入あり	268	199	76	62	139
記入率	85.6%	90.0%	80.5%	64.6%	44.4%

便色確認の記録	子どもの数				地方部自治体	都市部自治体	総計
	1人	2人	3人	4人以上			
記入あり	59	50	24	6	60	79	139
記入なし	71	67	29	7	96	78	174
総計	130	117	53	13	156	157	313
	$P=0.97$				$P=0.035$		

研究代表者 中村安秀 国立看護大学校 特任教授
 研究分担者 渡邊洋子 東京都八王子市保健所 所長